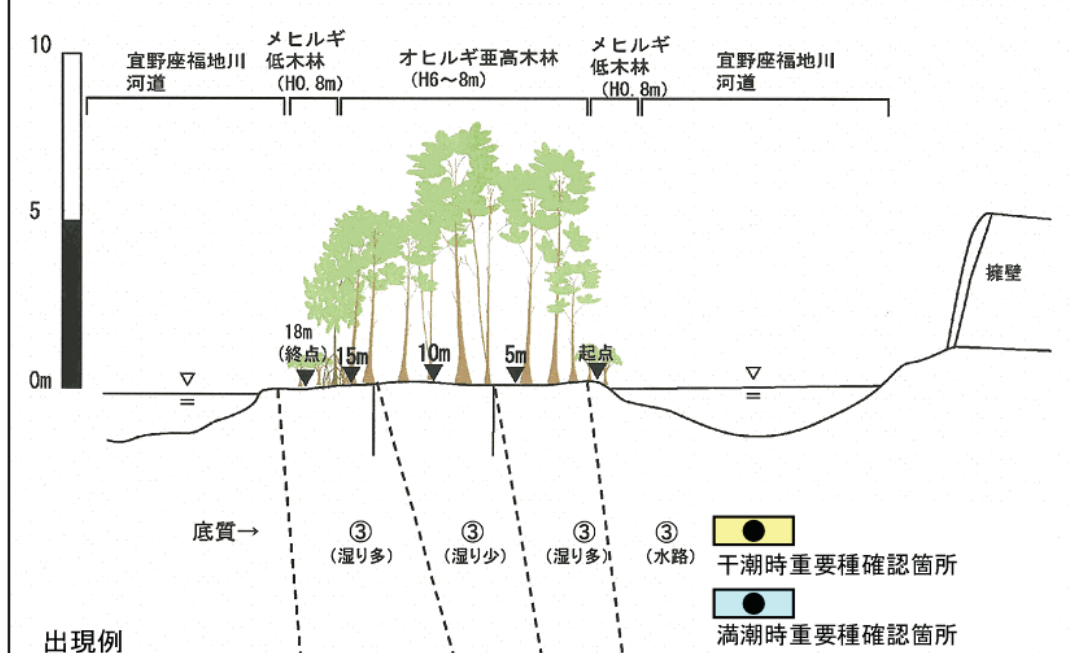


測線名	宜野座福地川マングローブ林 地点2							
該当箇所	マングローブ域 中流部							
植生・底質マトリックス	植生高	← 低 → 高					凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。  	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレム グラ群落	マングローブ林				オヒルギ 亜高木林 (発達林分)
	底質			含   メ ヒ ル ギ ヤ ギ 低 木 林	メ ヒ ル ギ ヤ ギ 低 木 林	メ ヒ ル ギ ヤ ギ 高 木 林		メ ヒ ル ギ ヤ ギ 高 木 林
	①泥							
	②砂礫含む泥							
	③砂泥							
	④砂							
⑤小礫含む砂								
⑥砂礫								

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



種名	調査地点	終点	15m	10m	5m	起点	重要な種 <sup>注)</sup>			
							環境省RL旧	環境省RL新	沖縄県RDB	その他
干潮時	マドモチウミナ	●	●			●	VU	VU	NT	-
	タイワンヒルギシジミ	●	●	●	●	●	VU	VU	NT	-
	オオテナガエビ	●				●	-	-	NT	-
	チゴイワガニ	●	●			●	-	-	NT	-
	ミノテアシハラガニ		●			●	-	-	NT	-
満潮時 (水域)	オオテナガエビ			●			-	-	NT	-
	オキナワヤワラガニ			●			-	-	VU	-
	チゴイワガニ			●			-	-	NT	-
	ヒゲワラスボ			●			VU	-	-	-

注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.18 (2) マングローブ林の地点別環境情報(宜野座福地川:地点2)

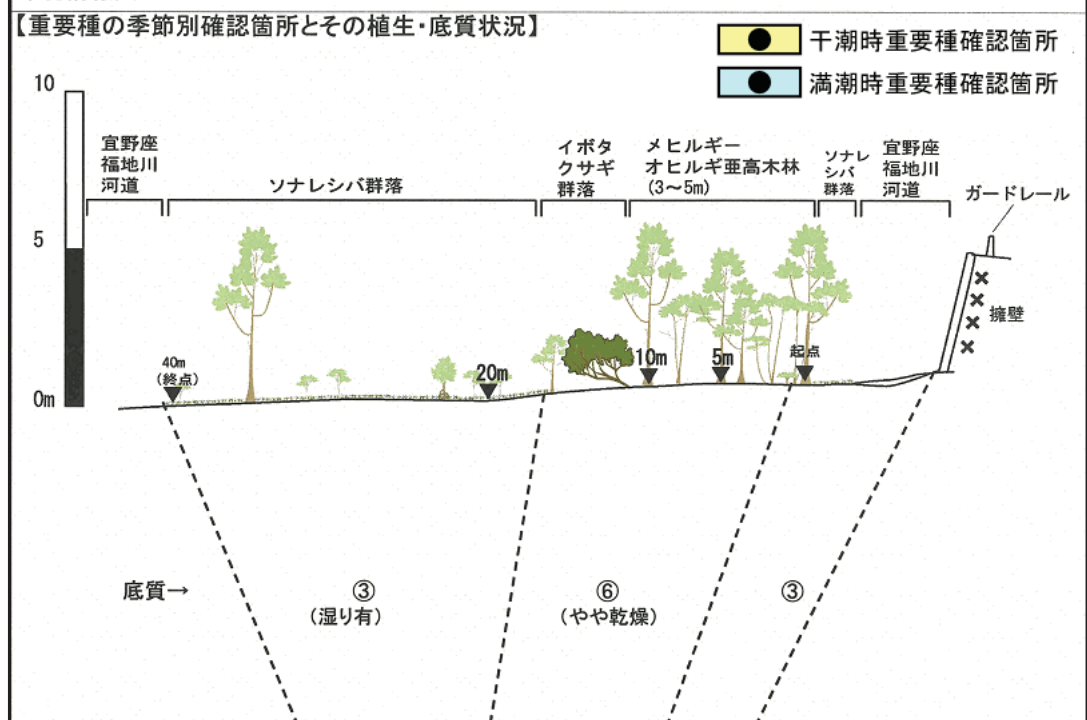
測線名	宜野座福地川マングローブ林 地点3							
該当箇所	マングローブ域 下流部							
植生・底質マトリックス	植生高	低	← マングローブ林 →				高	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレシバ 群落	マングローブ林				オヒルギ 亜高木林 (発達林分)
	底質	①泥						
		②砂礫含む泥						
		③砂泥						
		④砂						
		⑤小礫含む砂						
⑥砂礫								

凡例

・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。

当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  
 当該測線で確認した植生・底質タイプ  
 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図



出現例

種名	調査地点	終点	20m	10m	5m	起点	重要な種 <sup>注)</sup>			
							環境省RL旧	環境省RL新	沖縄県RDB	その他
干潮時	マドモチウミナ	●					VU	VU	NT	—
	イロタマキビ				●		NT	NT	NT	—
	ゴマセンベシアワモチ					●	NT	NT	—	—
	オカヤドカリ				●		—	—	—	国指定天然記念物
	チゴイワガニ					●	—	—	NT	—
満潮時 (水域)	コウナガイワガニモドキ			●			—	—	NT	—
	クサフグ			●			LP	LP	—	—

注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省RL旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)  
 環境省RL新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)  
 沖縄県RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.18 (3) マングローブ林の地点別環境情報(宜野座福地川:地点3)



長島 約0.02 平方 km  
 灯台あり。釣人の渡航有り  
 アジサシ営巣有(10 巣前後)



平島 約0.02 平方 km  
観光(海水浴客)の利用有り  
 アジサシ営巣有(少)



安部オール島 約0.06 平方 km  
 アジサシ営巣無し



御向島(ウンケー島) 約0.002 平方 km  
 アジサシ営巣有(少)



図-6. 19. 2. 2. 1. 1 アジサシ類の繁殖地である島嶼の状況



表-6. 19. 2. 2. 1. 1(1) 特定外来生物指定種の確認状況(ジャワマングース、シロアゴガエル)

種名	調査年度	調査Line																													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ジャワマングース	H19	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	H20	○	●			●	●	●	●		●	●	◎	●	◎	●	◎	●	●	●	◎	◎		●	●			◎	◎	●	
シロアゴガエル	H19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	H20	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

注) 凡例は以下のとおり。

◎: トラップ調査及びライン調査での確認、●: ライン調査での確認

○: トラップ調査での確認

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

表-6. 19. 2. 2. 1. 1(2) 特定外来生物指定種の確認状況(カダヤシ)

種名	調査年度	確認河川					
		瀬嵩川	オート川	汀間川	松田落平川	松田布流石川	辺野古ダム(美謝川)
カダヤシ	H19	●	●				
	H20	●	●	●	●	●	●

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

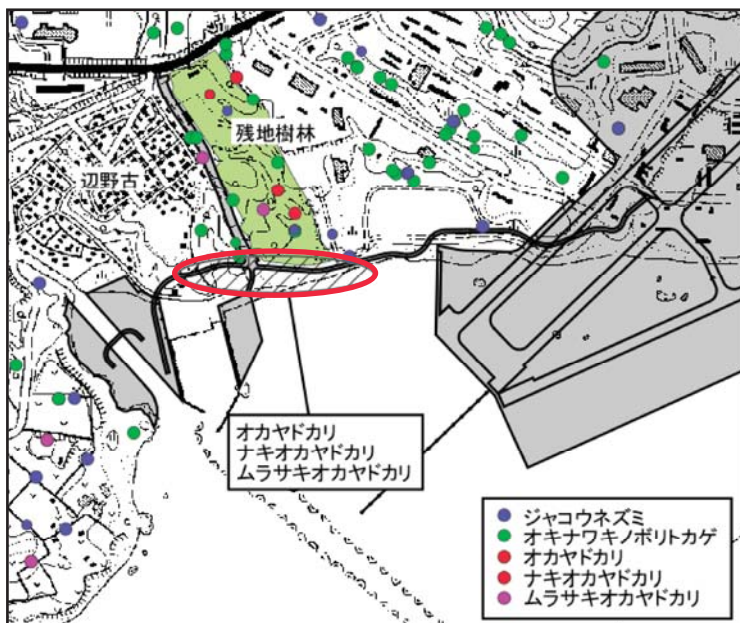


図-6. 19. 2. 2. 1. 2

工所用仮設道路周辺での動物確認状況

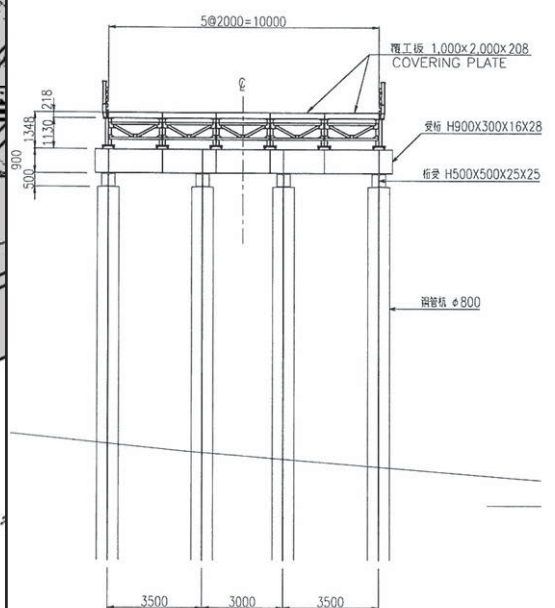


図-6. 19. 2. 2. 1. 3

工所用仮設道路の形状

表-6. 19. 2. 2. 2. 1 ツミの好適餌と考えられる鳥類<sup>注)</sup>の一例

No.	目名	科名	種または亜種名	学名	全長 (cm)	生息環境		
						草地	樹林地	
1	チドリ	ミフウズラ	ミフウズラ	<i>Turnix suscitator okinavensis</i>	14	●		
2	キツツキ	キツツキ	リュウキュウコゲラ	<i>Dendrocopos kizuki nigrescens</i>	15		●	
3	スズメ	サンショウクイ	リュウキュウサンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus tegimae</i>	20		●	
4		カササギヒタキ	リュウキュウサンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata illex</i>	17		●	
5		モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus bucephalus</i>	20	●		
6			シマアカモズ	<i>Lanius cristatus lucionensis</i>	20		●	
7		ククイタダキ	ククイタダキ	<i>Regulus regulus japonensis</i>	10		●	
8		シジュウカラ	アマミヤマガラ	<i>Poecile varius amamii</i>	14		●	
9			オキナワシジュウカラ	<i>Parus minor okinawae</i>	15		●	
10		ヒヨドリ	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i>	19	●	●	
11		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone cantans</i>	16	●	●	
12		ムシクイ	ムジセッカ	<i>Phylloscopus fuscatus fuscatus</i>	12		●	
13			キマユムシクイ	<i>Phylloscopus inornatus</i>	10		●	
14			メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>	13		●	
15		メジロ	リュウキュウメジロ	<i>Zosterops japonicus ioochooensis</i>	12		●	
16		ヨシキリ	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps bistrigiceps</i>	13	●		
17		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis brunniceps</i>	12	●		
18		ムクドリ	コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>	19	●	●	
19		ヒタキ	ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>	16	●		
20			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus aureus</i>	15	●		
21			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	15	●	●	
22			リュウキュウキビタキ	<i>Ficedula narcissina owstoni</i>	14		●	
23		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus saturatus</i>	14	●		
24		セキレイ	ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava taivana</i>	17	●		
25			キセキレイ	<i>Motacilla cinerea cinerea</i>	20	●		
26			ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni hodgsoni</i>	16	●	●	
27			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>	16	●		
28		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	16	●	●	
29			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	12		●	
30		ホオジロ	ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans elegans</i>	16	●	●	
31			アオジ	<i>Emberiza spodocephala personata</i>	16	●	●	
32			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	17	●	●	
33		カエデチョウ	シマキンパラ	<i>Lonchura punctulata topela</i>	11	●		
計		3目	20科	33種		—	20種	22種

注)平成19年度(既存資料)及び平成20年度の「6.17 陸域動物」で確認された種から、スズメ大もしくはそれより小さい(全長20~10cm)種を選定しました。全長及び生息環境は「沖縄野鳥研究会(2010).改訂版 沖縄の野鳥」を参考としました。

資料:「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局



- ・御向島(ウンケー島)  
アジサシ類営巣有(少)
- ・辺野古漁港沖の岩礁  
アジサシ類営巣有(少)

(H19. 8 月撮影)



- ・長島  
アジサシ類営巣有  
(10 巣前後)
- ・平島  
アジサシ類営巣有(少)
- ・平島の南東側の岩礁  
アジサシ類営巣(少)
- ・辺野古漁港沖の岩礁  
アジサシ類営巣有(少)

(H20. 4 撮影)



- ・安部オール島  
アジサシ類営巣無し
- ・安部崎西側の岩礁  
アジサシ類営巣有(少)

(H19. 10 撮影)

図-6. 19. 2. 2. 2. 1 アジサシ類の主な生息及び繁殖場の状況



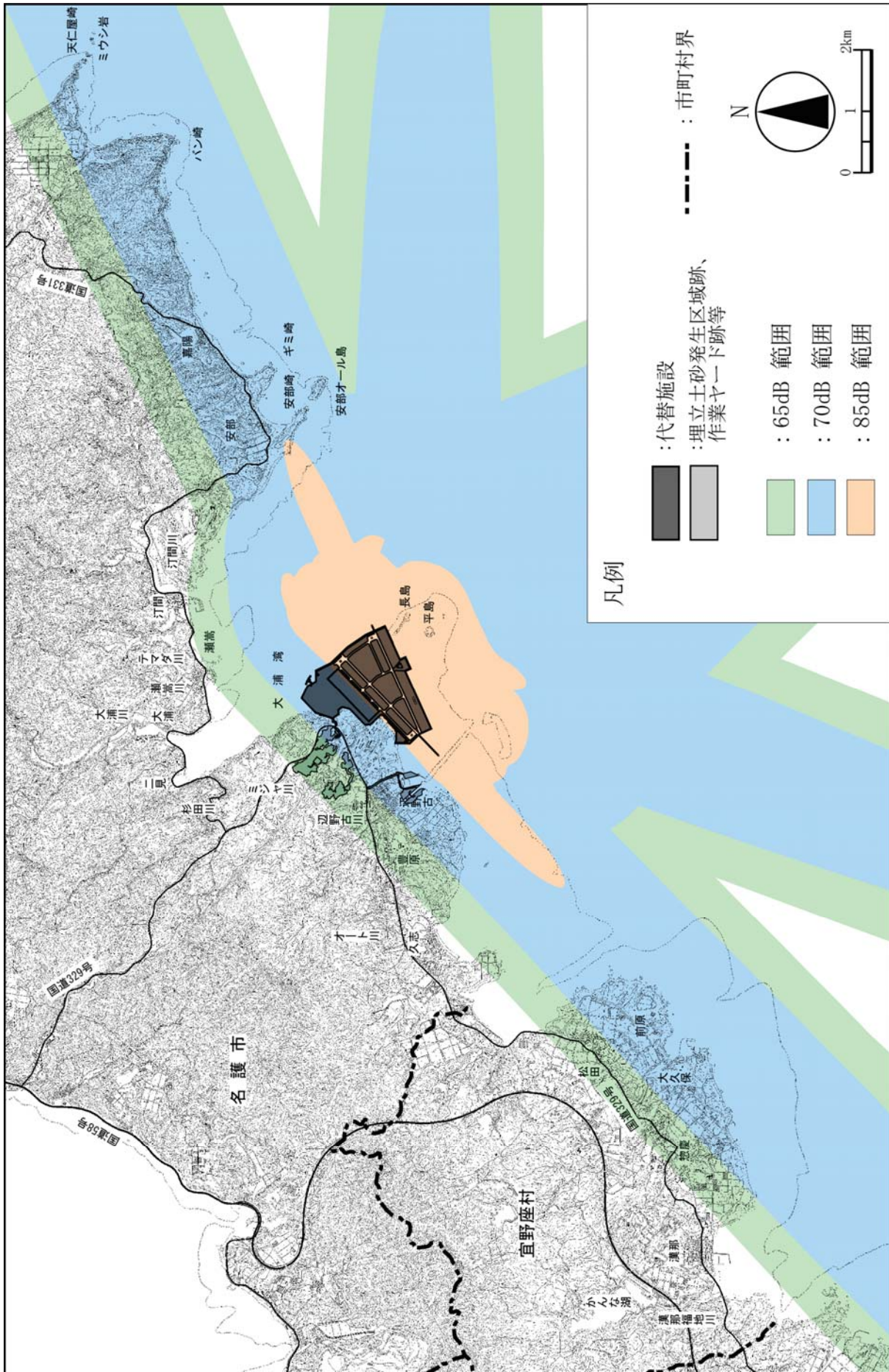
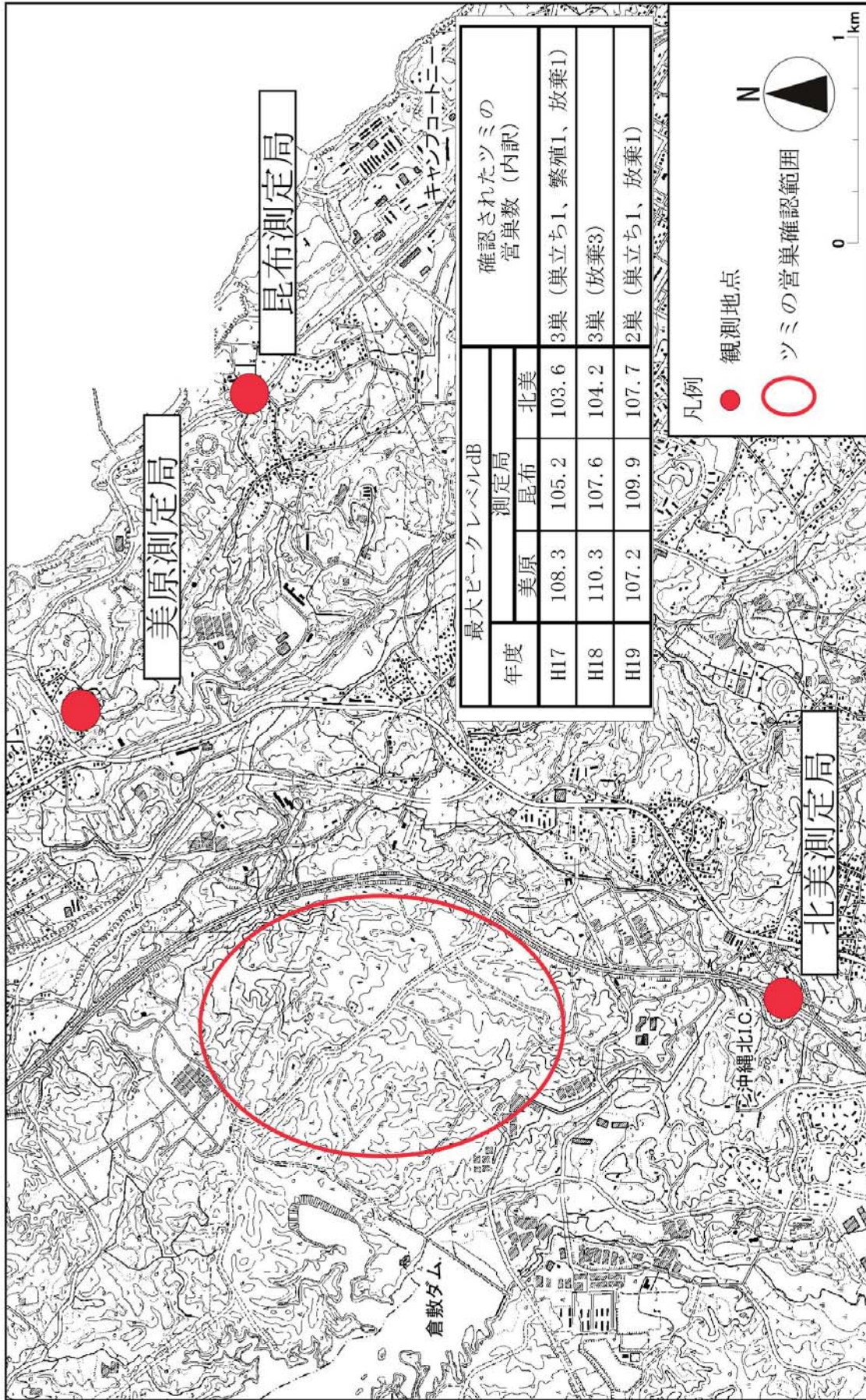


図-6.19.2.2.2.2 ピーク騒音レベルの範囲(回転翼機及び固定翼機)





注) 嘉手納飛行場はツミ確認範囲から南西方向に約4kmに存在します。

資料: 沖縄防衛局(2008). 嘉手納地区(18)運動施設(429)移設モニタリング調査報告書, 沖縄防衛局  
 沖縄県(2008). 沖縄県環境白書(平成19年度報告), 沖縄県

図-6.19.2.2.2.3 嘉手納飛行場周辺におけるツミの繁殖事例





表-6. 19. 2. 2. 2(1) 飛行場を利用する可能性のある鳥類

No.	目名	科名	種または亜種名	学名	利用状況 <sup>注)</sup>		
					採餌	休息	
1	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>		●	
2			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>		●	
3			コガモ	<i>Anas crecca crecca</i>		●	
4	ハト	ハト	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>	●	●	
5			リュウキュウキジバト	<i>Streptopelia orientalis stimpsoni</i>	●	●	
6			ズアカアオバト	<i>Treron formosae permagnus</i>	●		
7	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo hanedae</i>		●	
8	ペリカン	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>		●	
9			ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i>		●	
10			アマサギ	<i>Bubulcus ibis coromandus</i>	●	●	
11			アオサギ	<i>Ardea cinerea juyi</i>		●	
12			ダイサギ	<i>Ardea alba alba</i>		●	
13			チュウサギ	<i>Egretta intermedia intermedia</i>	●	●	
14			コサギ	<i>Egretta garzetta garzetta</i>		●	
15			クロサギ	<i>Egretta sacra sacra</i>		●	
16			ツル	クイナ	シロハラクイナ	<i>Amaurornis phoenicurus phoenicurus</i>	●
17	リュウキュウヒクイナ	<i>Porzana fusca phaeopyga</i>			●	●	
18	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis kuntzi</i>	●		
19	チドリ	チドリ	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	●	●	
20			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	●	●	
21			コチドリ	<i>Charadrius dubius curonicus</i>	●	●	
22			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus dealbatus</i>		●	
23			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus stegmanni</i>		●	
24			オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>		●	
25			セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus himantopus</i>		●
26			シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	●	
27				チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus variegatus</i>	●	●
28		ダイシャクシギ		<i>Numenius arquata orientalis</i>		●	
29		ホウロクシギ		<i>Numenius madagascariensis</i>		●	
30		アオアシシギ		<i>Tringa nebularia</i>		●	
31		タカブシギ		<i>Tringa glareola</i>		●	
32		キアシシギ		<i>Heteroscelus brevipes</i>		●	
33		ソリハシシギ		<i>Xenus cinereus</i>		●	
34		イソシギ		<i>Actitis hypoleucos</i>		●	
35		キョウジョシギ		<i>Arenaria interpres interpres</i>		●	
36		ミユビシギ		<i>Calidris alba</i>		●	
37		トウネン		<i>Calidris ruficollis</i>		●	
38		ハマシギ		<i>Calidris alpina sakhalina</i>		●	
39		ミフウズラ		ミフウズラ	<i>Turnix suscitator okinavensis</i>	●	●
40		ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	●	●	
41		カモメ	オオアジサシ	オオアジサシ	<i>Sterna bergii cristata</i>		●
42				コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>		●
43				ベニアジサシ	<i>Sterna dougallii bangsi</i>		●
44				エリグロアジサシ	<i>Sterna sumatrana</i>		●
45				アジサシ	<i>Sterna hirundo longipennis</i>		●
46				クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybrida javanicus</i>		●
47		タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>		●
48			タカ	トビ	<i>Milvus migrans lineatus</i>		●
49		ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis bengalensis</i>		●
50		ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus interstinctus</i>	●	●
51				チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo subbuteo</i>	●	●
52				ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>	●	●



表-6. 19. 2. 2. 2. 2(2) 飛行場を利用する可能性のある鳥類

No.	目名	科名	種または亜種名	学名	利用状況 <sup>注)</sup>	
					採餌	休息
53	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus bucephalus</i>	●	●
54		カラス	リュウキュウハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos connectens</i>	●	●
55		ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia ijimae</i>	●	●
56			ツバメ	<i>Hirundo rustica gutturalis</i>	●	●
57			リュウキュウツバメ	<i>Hirundo tahitica namiyei</i>	●	●
58			コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica japonica</i>	●	●
59		ヒヨドリ	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i>	●	●
60		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone cantans</i>	●	●
61		ヨシキリ	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps bistrigiceps</i>	●	●
62		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis bruniceps</i>	●	●
63		ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	●	●
64			コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>	●	●
65		ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma aurea</i>	●	●
66			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	●	●
67			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	●	●
68			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus chrysolaus</i>	●	●
69			ツグミ	<i>Turdus naumanni eunomus</i>	●	●
70			ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>	●	●
71			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus auroreus</i>	●	●
72			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius philippensis</i>	●	●
73			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	●	●
74		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus saturatus</i>	●	●
75		セキレイ	ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava taivana</i>	●	●
76			キセキレイ	<i>Motacilla cinerea cinerea</i>	●	●
77			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba lugens</i>	●	●
78			ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni hodgsoni</i>	●	●
79			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>	●	●
80		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	●	●
81		ホオジロ	ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans elegans</i>	●	●
82	アオジ		<i>Emberiza spodocephala personata</i>	●	●	
83	クロジ		<i>Emberiza variabilis</i>	●	●	
84	カエデチョウ	シマキンパラ	<i>Lonchura punctulata topela</i>	●	●	
計	11目	30科	84種		50種	81種

注) 「6. 17 陸域動物」において、平成 19 年度調査(既存資料)及び平成 20 年度調査で確認された種または亜種から、生息環境、生態情報を考慮して飛行場を利用する可能性のあるものを抜粋しました。

生息環境、生態情報は沖縄野鳥研究会(2010)、高野(1985)を参考としました。

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成 20 年 10 月、沖縄防衛局

沖縄野鳥研究会(2010). 改訂版 沖縄の野鳥. 新星出版.

高野伸二(1985). 日本の野鳥. 山と溪谷社.